

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第17回 植物細胞周期合同セミナー
演題名	LMD 法を用いた時空間的遺伝子発現解析と植物ホルモン分析
発表者	○山田一貴[1]※、中野渡幸[1]※、湯本絵美[1]、横田孝雄[1]、山根久和[1]、佐藤忍[2]、朝比奈雅志[1]（植物生理学研究室） [1]；帝京大・理工・バイオ、[2]；筑波大・生命環境
内容	<p>レーザーマイクロダイセクション法を用いた時空間的発現解析と植物凍結切片から回収した微量組織を用いた植物ホルモンの定量分析について最新の研究成果を発表した。</p> <p>本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものである。なお、2018年度植物細胞周期合同セミナーは、本学植物生理学研究室が幹事となり、栃木県内で開催される予定である。</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>細胞周期セミナー会場（ラフォーレ蔵王・宮城県刈田郡蔵王町）と蔵王山の風景</p>